

2019年11月期

決算説明会資料

2020年1月17日(金)

(東証第1部:8095)



イワキ 株式会社

本日のご説明内容

I .決算概況

II .今後の事業戦略

III .今後の見通し

決算概況(2019年11月期)

前期比で売上高増収、過去最高の営業・経常利益とともに、すべての段階利益で**大幅な増益を達成しました。**

	実績	前期増減額	前期増減率
売上高	616 億円	+15.6 億円	+2.6%
営業利益	21.2 億円	+2.7 億円	+14.7%
経常利益	23.1 億円	+3.2 億円	+15.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	15.3 億円	+1.2 億円	+8.4%

✓ 3期連続最高営業・経常益達成

セグメント別業績

医薬・FC事業及び化学品事業で増収、さらに医薬・FC事業では大幅な増益を達成しました。

セグメント	<u>売上高</u>		<u>営業利益</u>	
	実績	前期増減額	実績	前期増減額
医薬・FC事業	244 億円	+22 億円	20 億円	+5.5 億円
HBC事業	241 億円	△4.7 億円	△0 億円	△2.3 億円
化学品事業	73 億円	+4.6 億円	0.8 億円	△0.1 億円
食品事業	42 億円	△0 億円	△0.4 億円	△0 億円
その他※	14 億円	△6.2 億円	△0 億円	△0.4 億円

※「その他」に関しては該当する子会社2社（動物用医薬品卸売）の全株式を譲渡したため、第4四半期から連結対象外となっております。

セグメント別概況詳細

セグメント分類

当期の概況

医薬品・F C	原料薬品BU	✓ 医薬品原料の製造販売は抗アレルギー剤群、潰瘍性大腸炎薬が堅調に推移 ✓ 受託の電子・機能性材料が好調に推移し、売上高・営業利益ともに大幅に伸長	
	医薬品BU	✓ 医療用医薬品は、主力の外皮用剤の販売が好調に推移 特に、副腎皮質ホルモン剤など主力品の売上が伸長 ✓ 一般用医薬品は「ビタミンC末」は低調に推移したが、新製品の男性型脱毛治療薬の売上が伸長	
	医療機器BU	✓ 酸素ブレンダーの販売が伸長し医療機器販売では堅調に推移 また小児マスクの取引拡大により消耗品関連が伸長し大幅な増収増益となった	
H B C	HBC原料BU	✓ 機能性食品原料分野は、新製品の好調はあったものの最終製品販売の不調による減少を受け、低調に推移 ✓ 化粧品原料分野は、新規顧客開拓に成果が得られたが、海外向け需要の減少などにより低調に推移	
	ファルマネットBU	✓ 海外向け販売に一定の成果が得られたが、インバウンド需要が鈍化したことで低調に推移	
	化粧品通販BU	✓ 新規顧客向け売上高は計画を下回ったが、主力製品の既存顧客向けプロモーションの好調、一部新製品の好調により全体では堅調に推移	
化学品	表面処理薬品BU	✓ プリント配線板向けでは、海外を中心に銅めっき添加剤の新規販売が伸長 ✓ 国内のU B Mなどの半導体向け薬品が伸長	
	スペシャリティマテリアルBU	✓ 受動部品向けは、市場全体が貿易問題などの影響を強く受け、売上高・営業利益ともに低調に推移	
	表面処理設備BU	✓ 利益改善活動を進めたことにより営業利益は堅調に推移	
食品	食品BU	✓ 顧客の製品終売、在庫調整などによる原料販売の減少などの影響があったが、健康志向食品向け原料の需要増加により全体的には堅調に推移	

本日のご説明内容

I .決算概況

II .今後の事業戦略

III .今後の見通し

中長期ビジョン<Vision “i-111”>

2016年1月に、創業111年へ向けた中長期ビジョンを発表しました。

創業 **111** 周年（2025年11月期）

▶ 連結売上高 **1**000億円以上

▶ No. **1** マーケットシェア

▶ ROIC **1**0% 以上

基本戦略

中長期ビジョンの達成へ向けて 4 つの基本戦略を立案。

連結売上高

1000億円



1

Intelligence

「策揃え」企業になる



2

International

海外市場への事業展開を図る

マーケットシェア

No.1



3

Innovative

「ナンバーワン」製品・事業に注力する



4

Investment

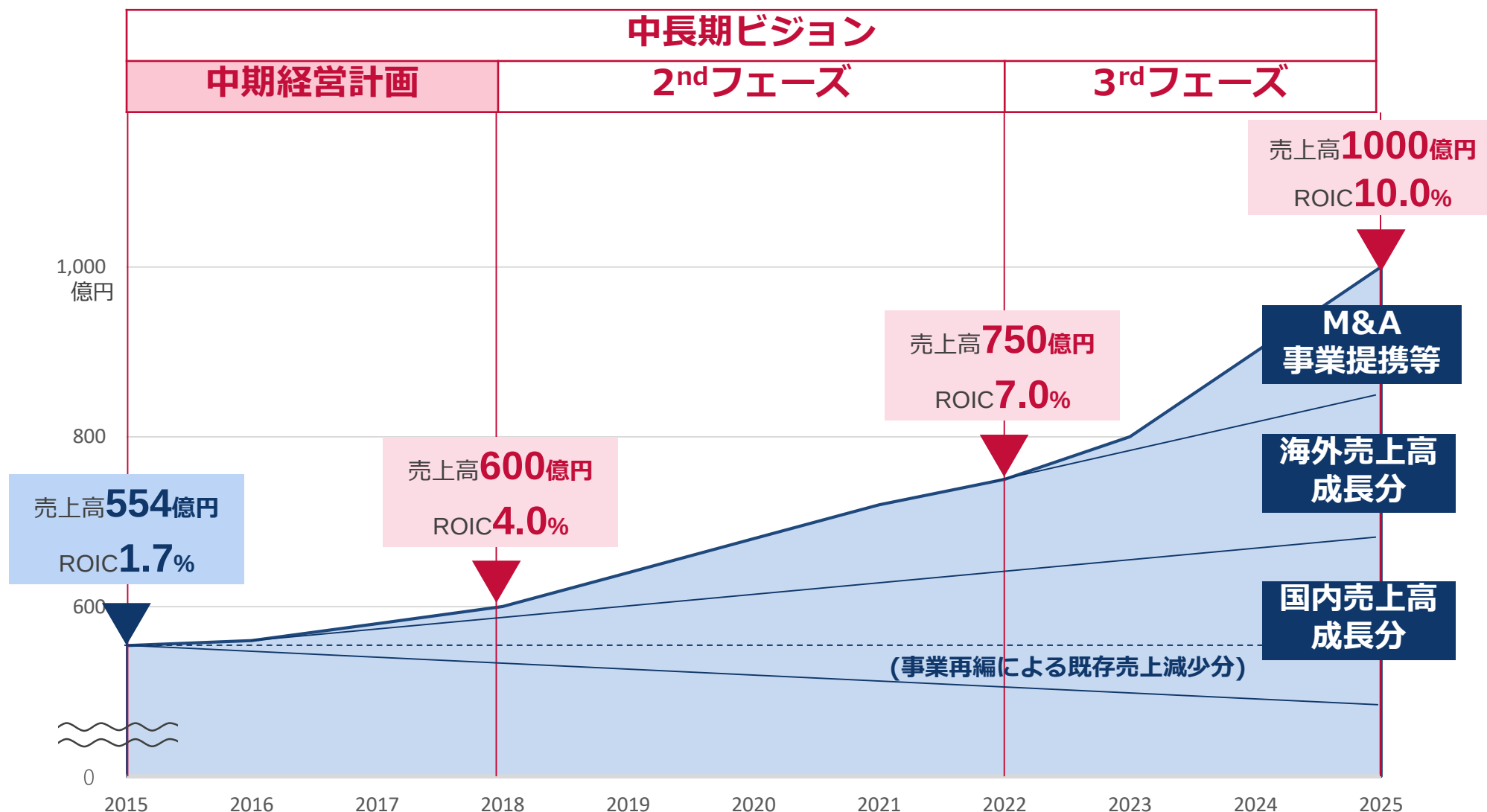
資本効率を意識した事業運営を行う

ROIC

10%以上

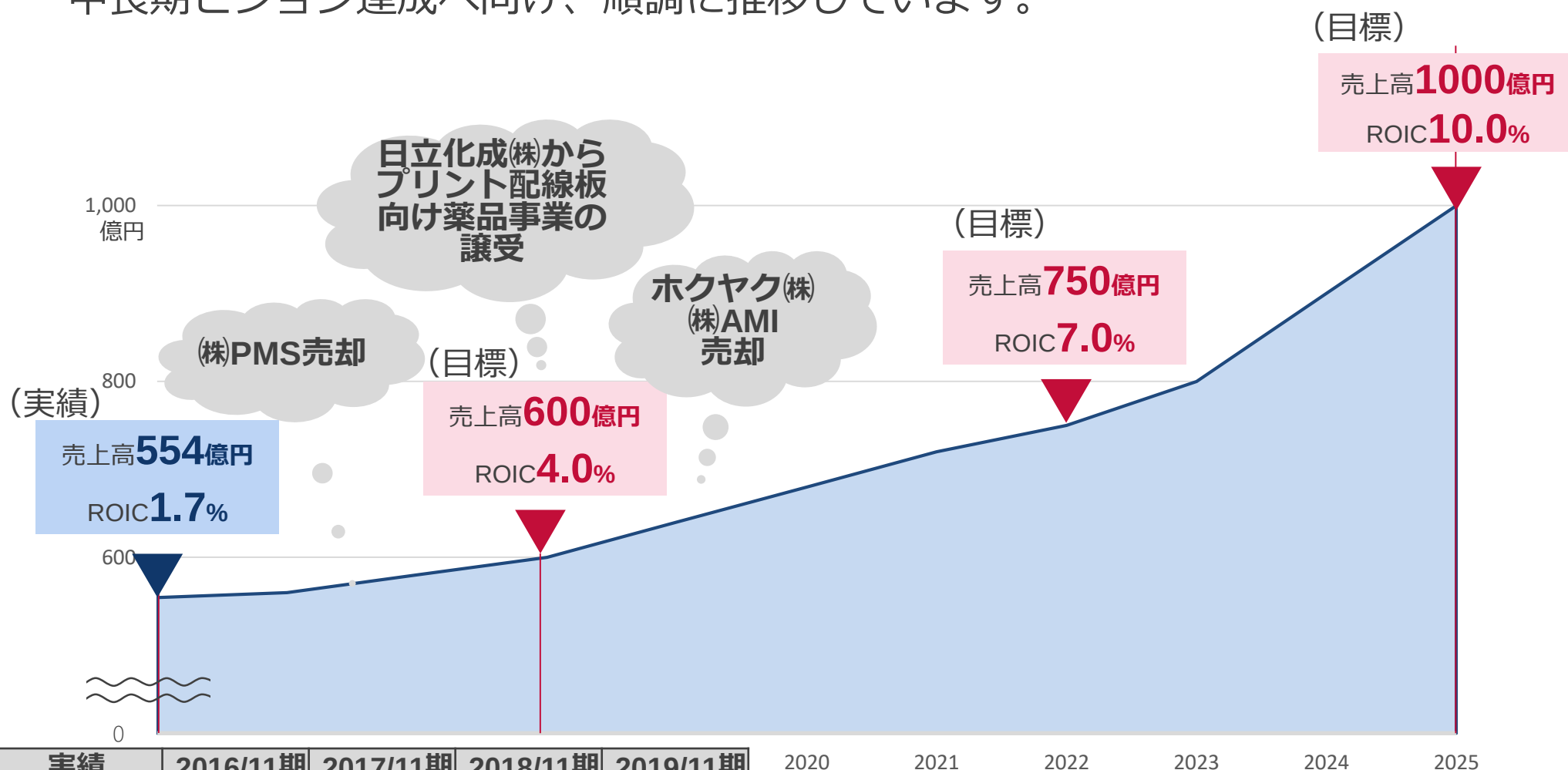
定量目標の概略

中長期ビジョン達成へ向け、3フェーズの中期経営計画を策定し実行する。



当初4年間の状況

中長期ビジョン達成へ向け、順調に推移しています。



【ご参考】 中期経営計画ローリングの状況

(単位：百万円)

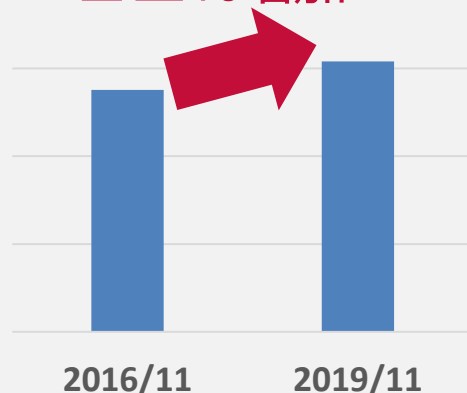
		2016/11期	2017/11期	2018/11期	2019/11期	2020/11期	2021/11期	2022/11期	対象期間の 年平均成長率
当初計画 (2016年1月開示)	売上高 営業利益 営業利益率 R O I C	56,000 850 1.5% -		60,000 1,000 1.7% 4.0%					3.5% 8.5% - -
1次ローリング (2018年1月開示)	売上高 営業利益 営業利益率 R O I C			59,000 1,400 2.4% -		65,000 2,100 3.2% 7.0%			5.0% 22.5% - -
2次ローリング (2019年1月開示)	売上高 営業利益 営業利益率 R O I C				63,000 2,000 3.2% 6.0%		70,000 2,800 4.0% 8.0%		5.4% 18.3% - -
3次ローリング (2020年1月開示)	売上高 営業利益 営業利益率 R O I C					64,000 2,200 3.4% 6.0%		75,000 3,200 4.3% 8.5%	8.3% 20.6% - -
(ご参考) 実績	売上高 営業利益 営業利益率 R O I C R O E	55,121 977 1.8% 3.2% 0.0%	57,387 1,571 2.7% 5.4% 7.2%	60,083 1,849 3.1% 5.9% 7.6%	61,647 2,121 3.4% 6.0% 7.7%				3.8% 29.5% - - -

中長期ビジョンの振り返りまとめ

業績とその背景

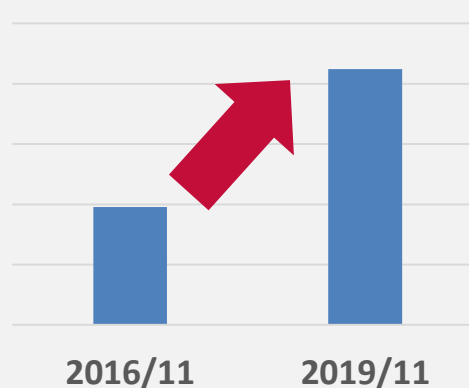
売上高

12%増加



営業利益

117%増加



- ✓ マーケットが好調であった
- ✓ 製造業比率が
5.3pt向上したこと

▼ 「大きな変革」は、まだ起きていない

「ビジネスモデル変革元年」と位置付ける

- ✓ 事業セグメントの分割／統合
- ✓ 基本戦略の再定義

セグメントの分割／統合

変化する事業環境に対応するためセグメントの分割／統合を実施します。

旧セグメント



分割



統合



新セグメント



変更の概要

TOPIC1

- ✓ 医薬品の原料の開発・製造・販売に特化

TOPIC2

- ✓ 皮膚向け医薬品の開発・製造・販売に特化

TOPIC3

- ✓ 食品と機能性食品の業際に対応

- ✓ 変更なし

旧セグメント別売上構成(2019年11月期)

旧セグメント

売上高
構成比

原材料製造

流通

製品製造

卸売

小売

計 (事業別)

医薬・FC
事業

原料薬品BU

43億円

127億円

医薬品BU

79億円

医療機器BU

3億円

245億円

40%

HBC事業

HBC原料BU

100億円

ファルマネットBU

116億円

化粧品通販BU

26億円

241億円

39%

化学品
事業

表面処理薬品BU

52億円

表面処理設備BU

15億円

スペシャリティ
マテリアルBU

7億円

73億円

12%

食品事業

食品BU

4億円

38億円

42億円

7%

その他

動物
薬卸 14億円

14億円

2%

計 (サプライ
チェーン別)

113億円

18%

273億円

44%

79億円

13%

133億円

22%

26億円

4%

616億円

100%

新セグメント別売上構成(2019年11月期)

新セグメント

売上高
構成比

原材料製造

流通

製品製造

卸売

小売

計 (事業別)

医薬品原料BU

ファインケミカル
事業

43億円

127億円

162億円

26%

医薬事業

医薬品BU

79億円

医療機器BU

3億円

82億円

13%

HBC
・
食品
事業

化粧品BU

45億円

26億円

ファルマネットBU

116億円

283億円

46%

食品原料BU

4億円

94億円

化学品
事業

表面処理薬品BU

52億円

表面処理設備BU

15億円

スペシャリティ
マテリアルBU

7億円

計 (サプライ
チェーン別)

113億円

18%

273億円

44%

104億円

17%

133億円

22%

616億円

100%

12%

73億円

TOPIC1

ファインケミカル事業のねらい

医薬品原料分野において、医薬品製造販売業の川上ニーズを取り込みさらなる事業拡充を図ります。



①付加機能の強化

医薬品原料の製造、輸入原料の精製、輸入原料の国内代理人、A P I の開発、製剤輸入

②製品ラインナップの拡充

高薬理活性原料対応新分析センターの新設
＜IWノースキューブ＞

③開発領域への進出

受託開発、申請業務、製造受託
治験薬供給への進出

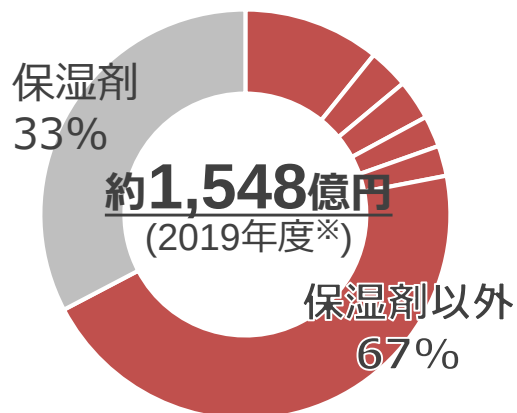
TOPIC2

医薬事業のねらい

皮膚向けに特化することで、プレゼンスの向上を図り医療用医薬品のみならず
コンシューマー領域においても着実な取り組みを実施しています。

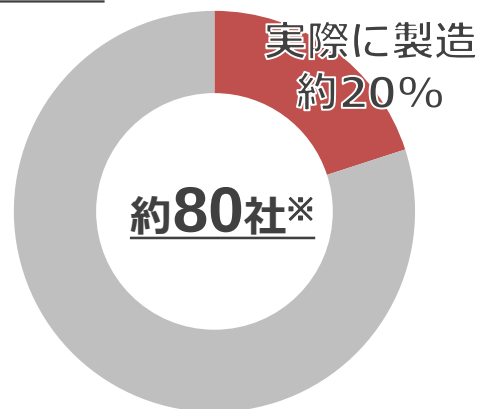
皮膚向け
医療用
医薬品

皮膚向け薬市場



- ✓ 剤型ごとの市場規模が極めて小さい

参入社数



- ✓ 参入社数が多い
- ✓ 製造社数が少ない
- ✓ 皮膚科専門MRが少ない



①皮膚薬で
No.1を！

- ✓ 参入社数の製造社数の減少が想定

その他
皮膚向け
コンシューマー
領域

一般用医薬品

- ✓ タイガーバームの国内総代理店



ドクターズコスメ

- ✓ 株式会社資生堂との提携によるNAVISIONの販売

化粧品

- ✓ 子会社アプロスによるスキンケア化粧品の通販



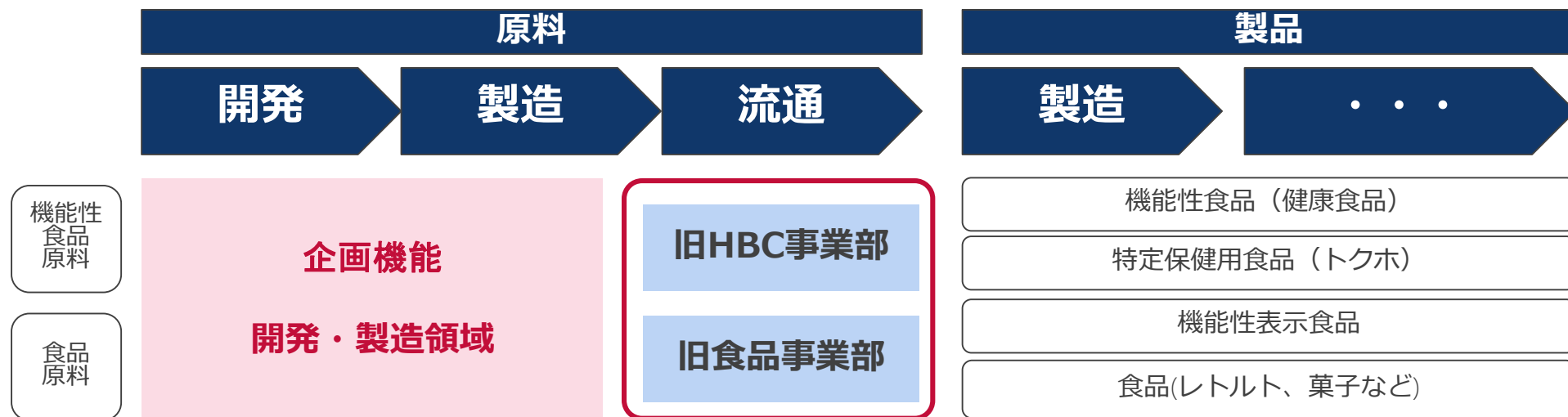
②医療用
以外でも
着実な
取り組み

※当社調べによる

TOPIC3

HBC・食品事業のねらい

境界が曖昧になっている「食品」と「機能性食品」への提案を強化するとともに、企画機能、開発・製造領域への進出を検討します。



①組織一体化による提案力強化

- ✓ 食品メーカーへの機能性食品原料の提案強化
例：大手食品メーカー向けコラーゲンの納入

②企画機能の強化

- ✓ 「機能性表示食品の届出」（代行も含む）
受理済み3件、準備中2件

③開発・製造領域への進出検討

- ✓ 流通機能からより川上の「開発・製造」領域への進出検討
- ✓ 自社原料の開発・製造による競争力強化、利益向上の改善

受理済み

- ・ GABA
- ・ HMBカルシウム
- ・ L-テアニン

化学品事業のねらい

事業内容の変更はありませんが、主力の3分野でそれぞれ目指すべきポジションを確保します。

プリント基板向け薬品

- ・ 微細回路形成の追及
- ・ 回路表面の平準化向上
- ・ 難めっき材料への密着向上

For
Market share

電子部品向け薬品

- ・ 海外応需体制確立
- ・ サービス体制強化
- ・ 販促ツールの充実

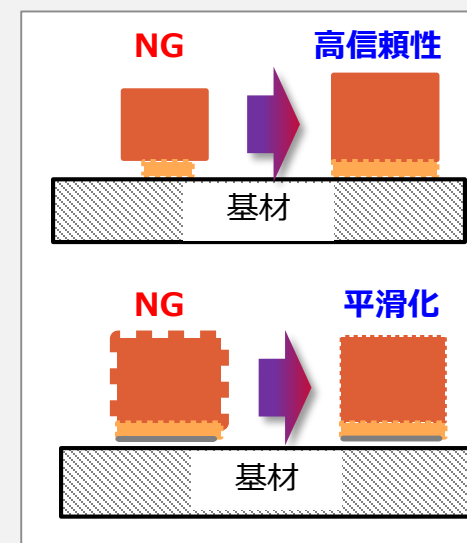
For
Share No.1

半導体向け薬品

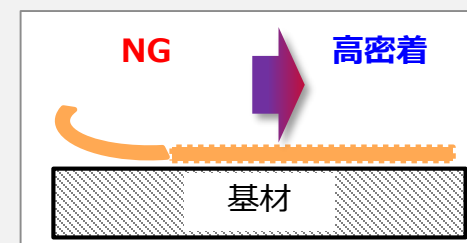
- ・ 高機能UBMの追及
- ・ 次世代 めっき皮膜の開発
- ・ 顧客提案力の強化

For
Differentiation

信頼あるシード層エッチング



低誘電材料へのめっき技術



本日のご説明内容

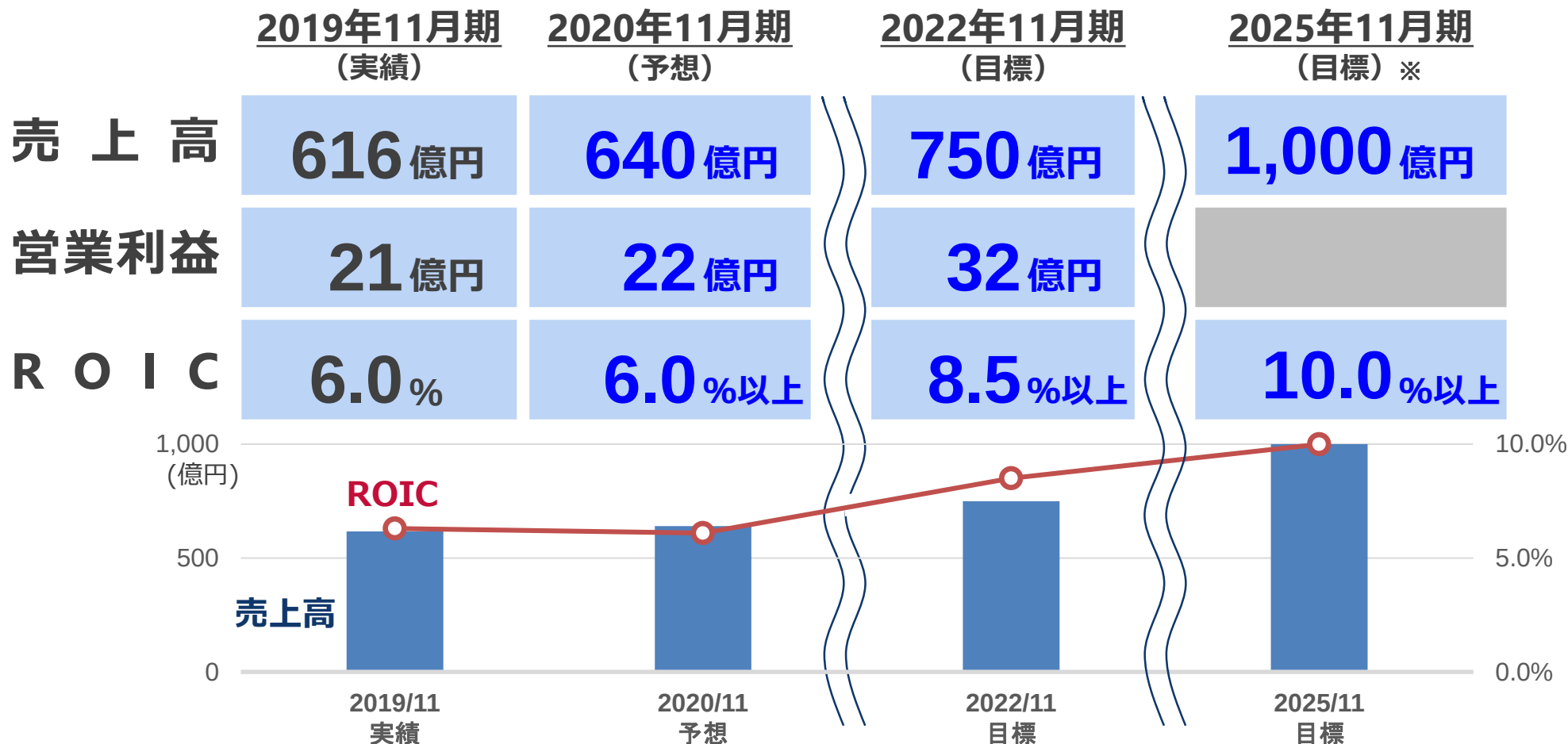
I .決算概況

II .今後の事業戦略

III .今後の見通し

中長期経営計画

3カ年の定量目標につきましては、原則として毎年ローリングしています。



※最終年度の数値目標につきましては、2016年1月14日付開示から変更はありません。

通期連結業績の見通し

2020年11月期は、過去最高の売上高とともに、すべての段階利益で過去最高益を目指します。

	見通し	前期増減額	前期増減率
売上高	640億円	+24億円	+3.8%
営業利益	22億円	+0.8億円	+3.7%
経常利益	24億円	+0.8億円	+3.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	17億円	+1.7億円	+10.9%
R O I C	6.0%	(実績)6.0%	-%

✓ 1997年来の最高売上高

✓ 各段階利益においても過去最高益の達成を目指す

株主還元

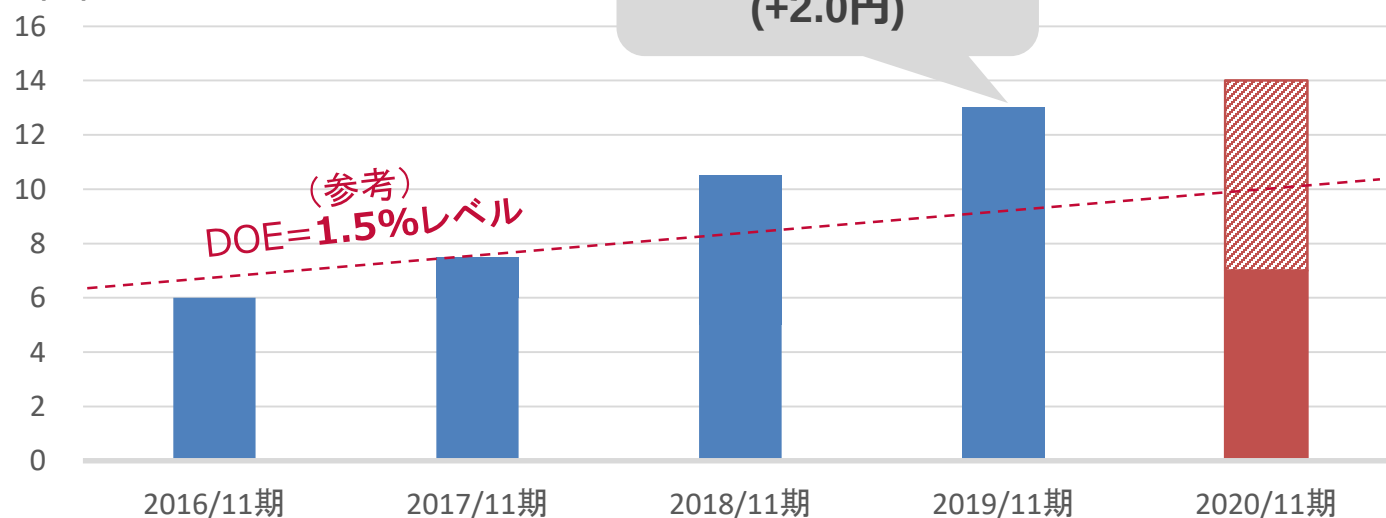
増益に伴い期末配当を6.0円から7.0円へ増配し、次期も年間14.0円配当を予定します。

配当方針

純資産配当率
(DOE) **1.5%** 以上

連結配当性向 **30%** 目処

一株当たり
配当額(円)



期末配当
予想

7.0円

中間配当
予想

7.0円

年間配当
予想

14.0円

株主優待制度を導入

株主の皆様に対して、日頃からのご支援に感謝するとともに当社グループへより一層の理解を深めてもらうために、新たに株主優待制度を導入しました。

■対象者

当社単元株式（100株）を1年以上保有している株主様

※同一の株主番号の方が対象

■実施時期

2019年11月期末の株主名簿に記載の株主（1年間以上の保有要件あり）

■贈呈品

当社グループ商品詰め合わせセットなど（3,000円相当）



※優待品画像はイメージです

【ご参考】 報告セグメント変更比較表

2020年11月期より報告セグメントを変更いたします。

新セグメント	Business Unit	事業内容	事業会社	旧セグメント
ファインケミカル事業	医薬品原料BU	✓ 医薬品原料の製造・販売	イワキ・岩城製薬	医薬・F C 事業
医薬事業	医薬品BU	✓ 医薬品の製造・販売	イワキ・岩城製薬	
	医療機器BU	✓ 医療機器の販売	イワキ	
H B C ・ 食品事業	化粧品BU	✓ 化粧品原料の販売	イワキ	H B C 事業
		✓ 化粧品の通信販売	アプロス	
	ファルマネットBU	✓ 一般用医薬品及び関連商品の卸売	イワキ	
	食品BU	✓ 機能性食品原料の販売	イワキ・ボーエン化成	
		✓ 食品原料の販売		食 品 事 業
	化 学 品 事 業	表面処理薬品BU	✓ 表面処理薬品の製造・販売	メルテックスグループ (日本・タイ・韓国・中国 香港・台湾)
スパ® シャリティマテリアルBU		✓ 表面処理関連資材の販売		
表面処理設備BU		✓ プリント配線板等の製造プラントの製造・販売	東京化工機・TCM(上海)	

※化学品事業の変更はございません。

- 本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報及び一般的に認識されている経済・社会等の情勢に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の経営環境の変化等様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれています。

問い合わせ窓口
イワキ株式会社
管理本部 経営管理部
Tel:03-3279-0564